

HOPEレポートXIV 3世代（ジェネレーション）クロス調査

3世代とも「他世代と、もっとコミュニケーション」したい。

孫のほうが、「おじいちゃん・おばあちゃんと、もっとコミュニケーションしたい」。

「母と娘」の関係は、時間・消費の双方で一層充実。

3世代共通で楽しみたいのは「食事」、みんなで行きたいのは「国内旅行」。

博報堂エルダービジネス推進室では、50歳以上のエルダー生活者について、常時さまざまな調査・研究を実施しておりますが、このたび、博報堂内の他世代を研究している、「BaBUプロジェクト（就学前の子供を持つ母親対象）」と「Kidsプロジェクト（小学生対象）」と共に、エルダーとその子供・孫の3世代の繋がりを明らかにし、「少子高齢化」時代の新しいチャンスを探るため「3世代クロス調査」を行いました。その結果がまとまりましたのでご紹介いたします。

今回の調査は、首都圏および関西の「孫のいるエルダー男女」「長子が小学生以下の20～30才既婚男女」「小学校中高学年男女」の3層・合計2205名に対し、2004年2月下旬～3月初旬にかけてインターネットで調査を行ったものです。

その結果、この異なる3世代は、それぞれ「他世代ともっとコミュニケーションしたい」と感じており、「国内旅行」や「食事」など、「3世代そろって」をターゲットにした消費の可能性を見つけることができました。また、世代同士の組み合わせによって、「一緒にショッピングがつながる母娘消費」「孫が求める祖父母とのコミュニケーション」「自立するエルダー妻と片思いのエルダー夫」など、さまざまな特徴も抽出されました。問題視されがちな「少子高齢化」ですが、「世代間の繋がりに注目することで、新しい市場が生まれる大きな可能性が見えてきました。

当プロジェクトでは、この「世代間の繋がり」について「ジェネレーションギャップからジェネレーションクロス時代へ」と名付け、今後研究して参ります。

＜調査結果トピックス＞

- ◇ 人とのコミュニケーション不足を、強く感じるエルダー男性。充実する「母娘」コミュニケーションに対し、不足する「父娘・父息子」コミュニケーション。
- ◇ エルダー夫が増やしたいのは、孫・子供・妻など「家族との時間」。エルダー妻が増やしたいのは、1人の時間・友人などとの「プライベートな時間」。配偶者間で明らかになる、「夫の片思い」。
- ◇ 自分たちが思っている以上に、相手から「コミュニケーションが足りていない」と思われているエルダー夫婦。
- ◇ 「おじいちゃん・おばあちゃんともっとコミュニケーションしたい」と、祖父母以上に思っている孫たち。93%以上の孫達が「もっとコミュニケーションしたい」と思っている。
- ◇ 3世代で楽しみたいものは「食事」、行きたいところは「国内旅行」。孫はもっと身近なことで祖父母と遊びたい。エルダーは若い層とパソコンをしたい。母と娘の楽しみの「買い物」が「母娘消費」を形作る。

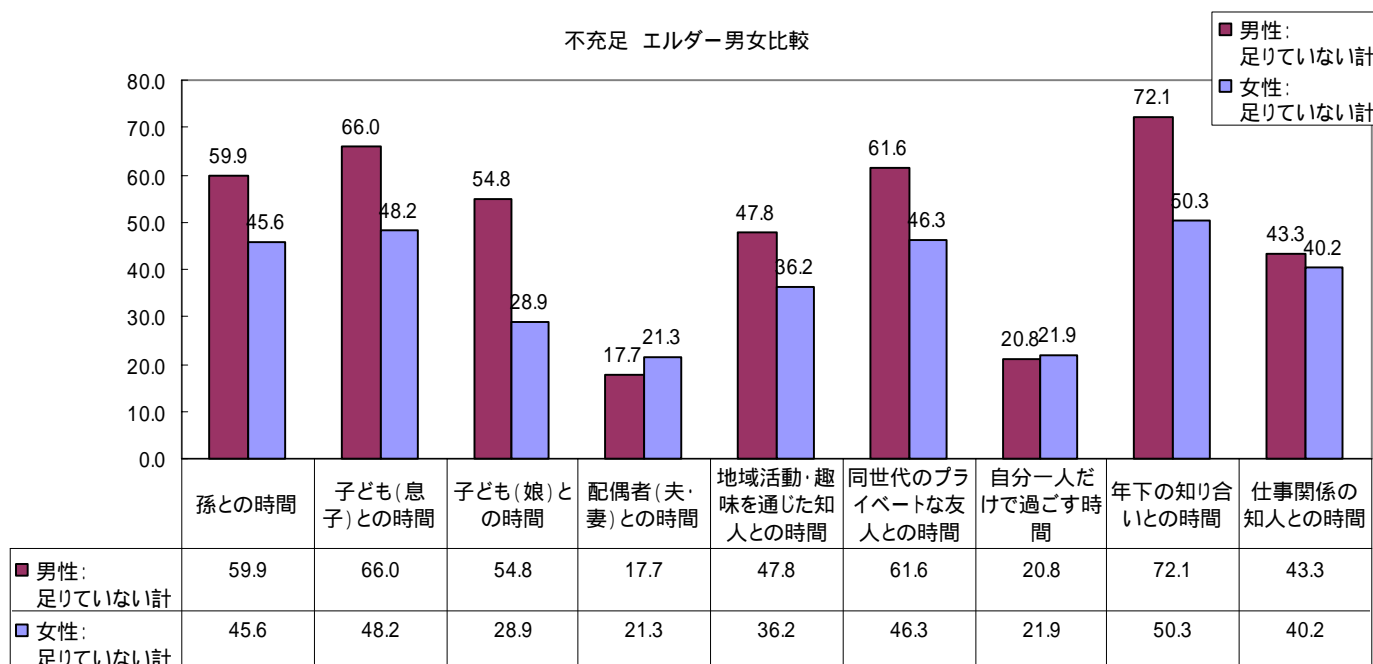
添付資料：調査データ

調査概要	調査時期：2004年2月下旬～3月初旬
	調査地域：東京40km圏および大阪/京都/神戸
	調査対象：孫のいる50-60代既婚男女計814名、長子が小学生以下の20-30代既婚男女計624名、小学校中高学年男女計767名（有効回答）
	調査方法：事前面接にてパネルを設定したインターネット調査（Hi-panel）

人とのコミュニケーション不足を、強く感じるエルダー男性。充実する「母娘」コミュニケーションに対し、不足する「父娘・父息子」コミュニケーション。

エルダー男女に「その人とのコミュニケーション時間がどの程度足りているか」を聞いてみたところ、「足りてない」と感じている回答は、ほぼ全ての項目で男性のほうが多く、エルダー男性の「コミュニケーション不充足感」の強さが浮かび上がりました。例外は、「配偶者との時間」と「自分の時間」で、この項目では不足感を感じているエルダー男性が20%程度で、その限りではほんのわずかですが、女性のほうが不足感が高くなっています。

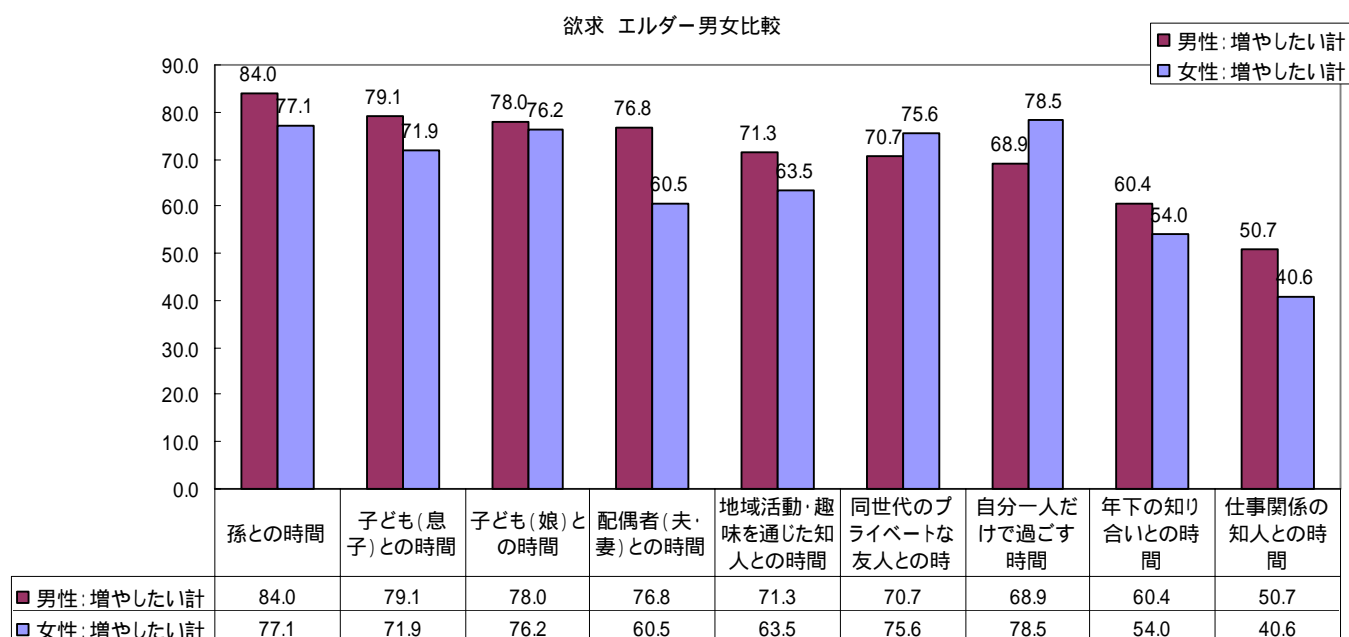
男女共に「コミュニケーション不足」を感じている相手は「年下の知り合い」「息子」「同世代の友人」でした。「娘との時間」は、男女の違いが大きく、男性は半数以上の54.8%が「足りていない」と感じているのに対し、「足りていない」と感じているエルダー女性は28.9%しかおらず、「エルダーの母とその娘」の母娘コミュニケーションの強さが浮き彫りになっています。



エルダー夫が増やしたいのは、孫・子供・妻など「家族との時間」。エルダー妻が増やしたいのは、1人の時間・友人などとの「プライベートな時間」。配偶者間で明らかになる、「夫の片思い」。

エルダー男女が「もっと増やしたいコミュニケーション時間」を相手別に聞いてみると、男女の意識に大きな差がありました。男性の場合は、上位から「孫：84.0%」「息子：79.1%」「娘：78.0%」「妻：76.8%」となり、「家族とのコミュニケーションの時間」をもっと増やしたいと感じているのに対し、女性は上位から、「1人ですごす：78.5%」「孫：77.1%」「娘：76.2%」「プライベートな友人：75.6%」となりました。相手別で最も男女のスコア差があったのは、「配偶者との

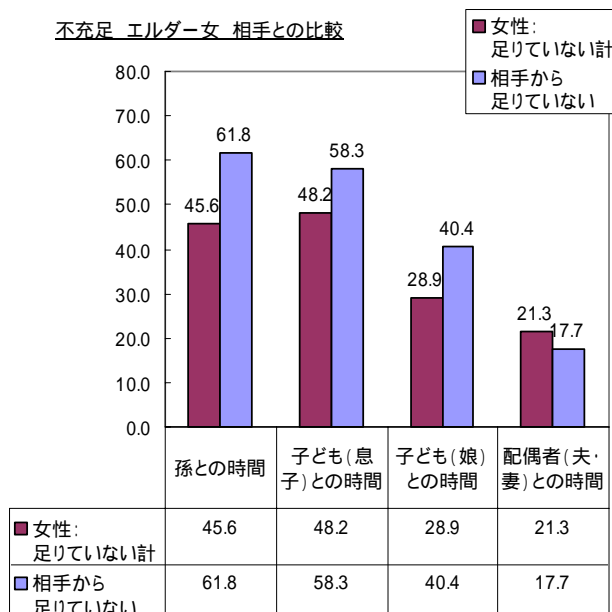
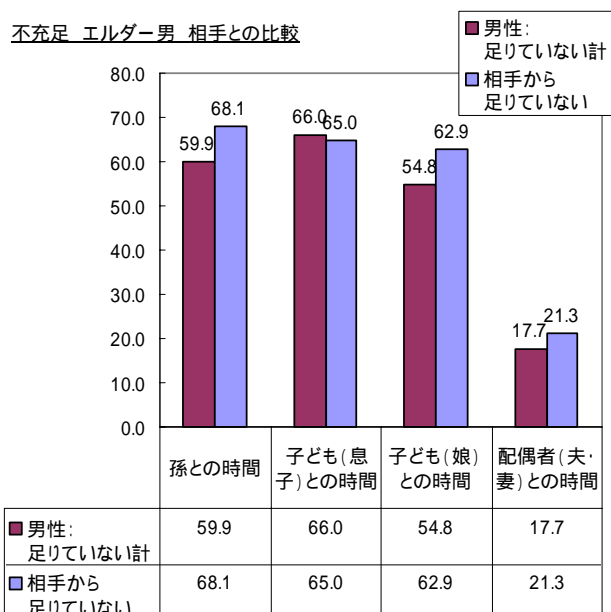
時間」で、女性は60.5%と、男性に比べて15%以上も低くなっています。



自分たちが思っている以上に、相手から「コミュニケーションが足りていない」と思われているエルダー夫婦。

それなりに「不足している」と感じてはいるものの、家族から見た場合と比較すると、相手からの不充足感のほうが強いことがわかりました。特に、目立ったのが、「孫」からの不充足感。6割以上の孫層が、「おじいちゃん、おばあちゃんとのコミュニケーション時間が足りない」と感じています。

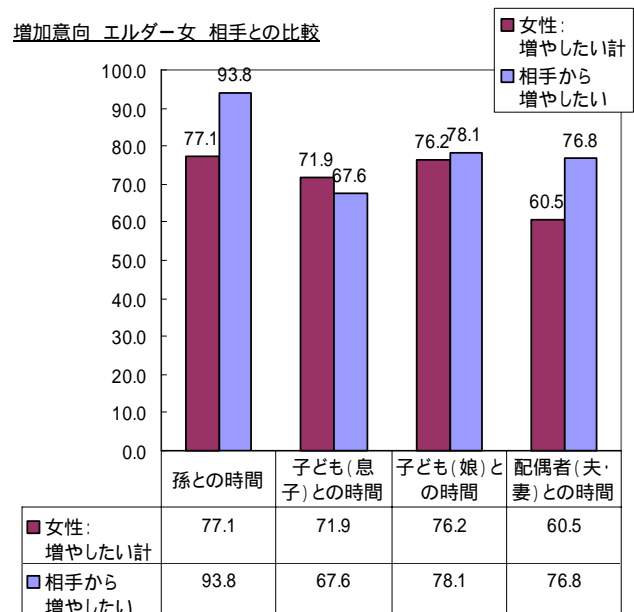
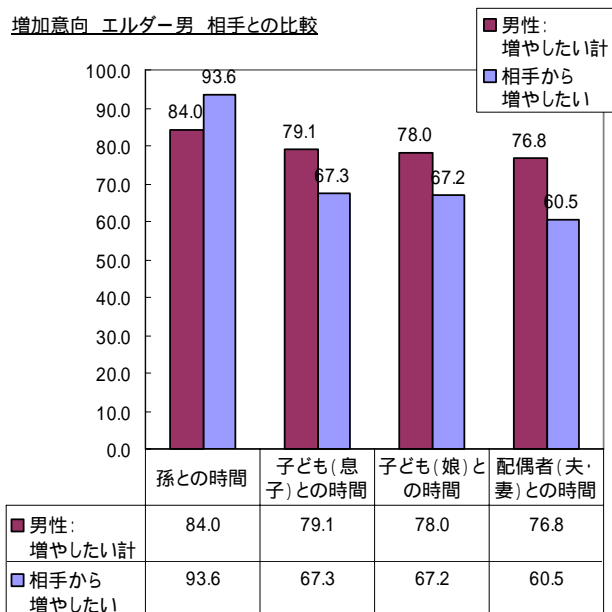
また、全体的な不充足感は、数値としてはエルダー男性との関係のほうが高いものの、相手と本人の認識の違いという視点では、その差はエルダー女性のほうが大きく、相手が思っている以上に、自分では「足りている」と思っている「自己満足なエルダー女性」が多いと言えます。



「おじいちゃん・おばあちゃんともっとコミュニケーションしたい」と、祖父母以上に思っている孫たち。93%以上の孫達が「もっとコミュニケーションしたい」と思っている。

実際に「不足している」と思われている孫とのコミュニケーションですが、「もっと増やしたいかどうか」という視点で見ると、孫達からのコミュニケーション欲求が非常に高いことがわかりました。おじいちゃんに対しても、おばあちゃんに対しても、9割以上の孫達が、「もっとコミュニケーションの時間を増やしたい」と思っており、エルダー層が孫達に対して思っているよりも高いのが特徴的で、「祖父母と孫」間のコミュニケーションの充実が一層求められていることがわかります。

また、それ以外の家族との関係も、双方5割以上が「もっと増やしたい」と答えており、多くの層で「世代を超えた家族コミュニケーションの充実」を求めていることがわかります。



3世代で楽しみたいものは「食事」、行きたいところは「国内旅行」。

孫はもっと身近なことで祖父母と遊びたい。エルダーは若い層とパソコンをしたい。母と娘の楽しみの「買い物」が「母娘消費」を形作る。

エルダー夫婦とその子供・孫といった3世代で、相手とどういうことをして楽しみたいかを聞いてみたところ、全世代が共通で「食事」をあげていました。また、一緒に行きたいところも、ほぼ全世代で「国内旅行」と答えており、「3世代家族で食事」「3世代家族で国内旅行」は今後大きな消費を生み出しそうです。

一方で、多少すれちがいが目立った項目は孫層は祖父母と「トランプ・ゲーム」など昔ながらの家庭ゲームで遊びたがっていること、エルダー層は、息子や娘と「パソコン」を楽しみたいと思っていることなどがあげられます。

また、他の世代間では、旅行や食事関連に「行きたい」と答えているのに対し、母と娘では、お互いに「ショッピング」「デパート・百貨店」など、「買い物」に行きたいと答えているもの特徴

的です。「母娘消費」は、今後も活発化しそうです。

		一緒に楽しみたいこと			一緒にいきたいところ		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
祖父・孫	エルダー男	食事	会話	スポーツ	国内旅行	散歩	遊園地・動物園
	孫	トランプ・ゲーム	テレビ/食事		国内旅行	散歩	公園
父・息子	エルダー男	食事	飲酒	パソコン	国内旅行	アウトドアレジャー	ドライブ
	息子	飲酒	食事	会話	国内旅行	居酒屋	アウトドアレジャー
父・娘	エルダー男	食事	パソコン	飲酒	国内旅行	海外旅行	レストラン
	娘	食事	飲酒	会話	国内旅行	レストラン	アウトドアレジャー

		一緒に楽しみたいこと			一緒にいきたいところ		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
祖母・孫	エルダー女	食事	会話	テレビ	遊園地・動物園	国内旅行	散歩
	孫	食事	トランプ・ゲーム	テレビ	国内旅行	お買い物	散歩
母・息子	エルダー女	食事	会話	パソコン	国内旅行	レストラン	海外旅行
	息子	食事	会話	お茶する	国内旅行	レストラン	海外旅行
母・娘	エルダー女	食事	お茶する	ファッション・おしゃれ	国内旅行	ショッピング	食べ歩き
	娘	食事	料理	お茶する	国内旅行	ショッピング	デパート・百貨店

本件に関するお問い合わせ

博報堂	広報室	宮川	Tel : 03 - 5446 - 6161
エルダービジネス推進室		阪本・田中	Tel : 03 - 5446 - 4355

ご参考

エルダーの規定（博報堂エルダービジネス推進室による）

50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定	
導入期	50～64歳
本格期（高齢者）	65歳以上
前期高齢者	65～74歳
後期高齢者	75歳以上

これまで発行したHOPEレポート

1. HOPE レポート ニューエルダーの登場（2001年5月・既報）
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPE レポート 情報縁：つながる場（2001年7月・既報）
・ユニバーサルデザイン
3. HOPE レポート 情報縁：つながる関係（2001年8月・既報）
・エルダーの人間関係
4. HOPE レポート 情報縁：3世代コミュニケーション（2001年9月・既報）
エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション
5. HOPE レポート 「エルダー層のお金に対する意識調査」（2001年11月・既報）
6. HOPE レポート つながるメディア「ラジオとエルダー」（2001年11月・既報）
7. HOPE レポート 「エルダーと旅」（2002年3月・既報）
8. HOPE レポート 「50代調査速報」（2002年7月・既報）
9. HOPE レポート 「HOPEサーベイ速報：エルダーとパソコン・携帯電話」（2002年10月・既報）
10. HOPE レポート 「50代60代1600名のお金に関する意識データ」（2003年3月・既報）
11. HOPE レポート増刊 『新しい大人文化』創造のヒント 『開け ひま』（2003年10月・既報）
12. HOPE レポート 「50代夫婦のパートナー評価」（2003年12月）
13. HOPE レポート 「エルダーの食生活調査」（2004年2月）
14. HOPE レポート 「エルダーと健康調査」（2004年4月）
15. HOPE レポート 「3世代（ジェネレーション）クロス調査」（今回）

* このニュースリリースは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。
（11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる限度です）